

教職員の福祉・ウェルビーイングを 大切にする学校づくりと政策



2024年2月5日

妹尾 昌俊

教育研究家

一般社団法人ライフ&ワーク 代表理事

大阪キリスト教短期大学教育テック総研 副所長・客員教授

senoom879@gmail.com

<https://senoom.jimdofree.com/>

妹尾は何者？（ちょっと自己紹介）



■5児の父

- 長男（大学1）、長女（高2）、次女（中3）、次男（小6）、三男（3歳、保育園）
- 高校まですべて公立学校・園。教育改革や学校の影響をもろに受ける、当事者でもあります。

■現場大好きな研修講師、アドバイザー、コンサルタント

- コロナ前までは、教職員や教育委員会職員とたくさん飲みに行っていた。
多いときは年間100回以上講演・研修（校長・教頭研修、校内研修の支援等）。
- 2016年から独立し、起業。教育長や校長の相談にのっています。
学校業務改善アドバイザー（文科省委嘱のほか、埼玉県、横浜市、熊本県等多数）。
- 中教審・働き方改革部会委員・質の高い教師の確保部会委員、
スポーツ庁・部活動ガイドライン委員、文科省校務の情報化の在り方専門家会議委員等。

■メディア、情報生産者

- 著書11冊。
- Yahoo!ニュース個人、東洋経済オンライン、教職研修、教育新聞等に多数寄稿。

■趣味：歴史もの（日本の戦国時代や古代ローマの史跡めぐりなど）、ガンダム好き

ちょっとしたクイズです。これは何の数字でしょうか？

1)

6分

8分

2)

41%
(公立小学校教諭)

先生たちの長時間過密労働は 何に影響する？

教育行政も、学校も、わたしたちは、これまでの過労死等の反省から学んできたのか？

「こんな学校現場での事故は私で終わらせて欲しい。」

- 熊本県天草市立小学校の教諭Tさん（当時44歳）は、2011年12月に意識不明の状態となり、一命はとりとめたものの重度の障害が残りました。その小学校は、学力向上のモデル校となり、Tさんは前年度から研究主任として、ほぼ毎週の校内研修の準備や研修発表の準備等に忙殺されていました。学力向上のため、プリントを自作したり、赤ペンで励ましのコメントを書いたりする、とても熱心な先生でした。
- 公務災害と言えるか争いとなりましたが、高裁において認定されました。
- Tさんは病床でこう綴っています（一部抜粋）。
「今回のことで一番悔やんでいることは家族に迷惑をかけたことだろう。寝たきりで会話もおぼつかないこんな体になってしまって何の役にも立てない。後悔の極みである。子供達もまだ幼く、当時、小五と小一の男の子で、キャッチボールをまだまだしたり遊んでやりたかった。突然、多くのものを奪われた。車の運転、仕事も。聴力も声も失くした。会話もできない。（中略）
こんなに取り返しのつかないことになるなら、もっと仕事の手を抜いて適当にすべきだった。こんな学校現場での事故は私で終わらせて欲しい。」

長野県公立小中学校の直近の時間外勤務の状況

- なお、総務省「令和3年度地方公共団体の勤務条件等に関する調査」によると、市区町村職員の時間外の平均は月11.3時間であり、45時間を超える職員の比率は4.8%である。

(3) 令和5年度1学期 勤務時間等の調査 集計結果&令和4年度との比較

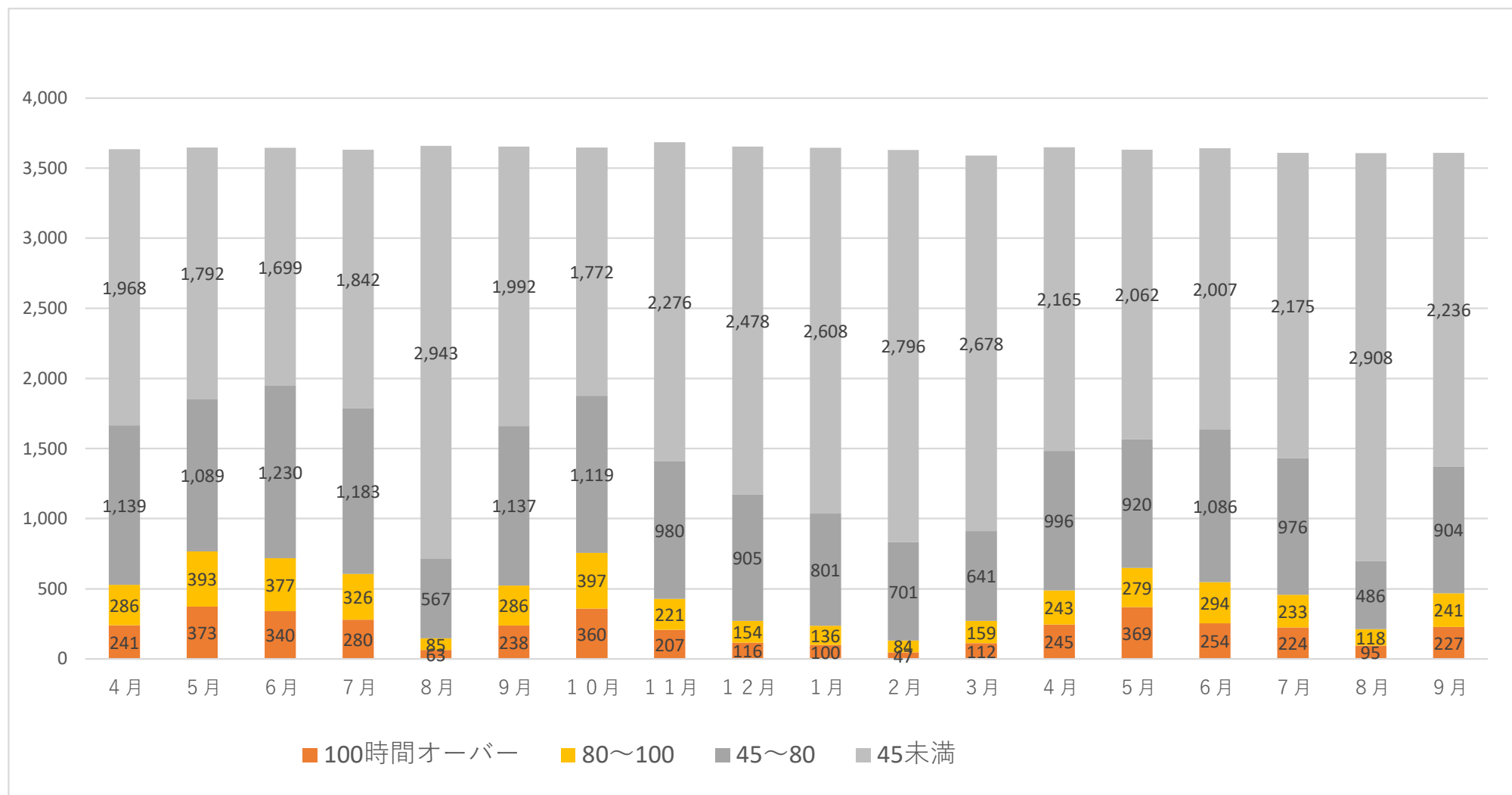
※学校数・調査人数は4月時点
※平均時間はすべて一人当たり

R5年度 1学期	調査対象		4月			5月			6月			7月		
	A調査 学校数 (客観管理)	調査人数	時間外 勤務 平均時間	休日勤務 平均時間	持ち帰り 仕事 平均時間	時間外 勤務 平均時間	休日勤務 平均時間	持ち帰り 仕事 平均時間	時間外 勤務 平均時間	休日勤務 平均時間	持ち帰り 仕事 平均時間	時間外 勤務 平均時間	休日勤務 平均時間	持ち帰り 仕事 平均時間
小学校	351	7091	48:06	1:43	1:48	44:52	1:43	1:45	46:07	1:34	1:56	34:24	2:08	1:52
中学校	182	4518	46:15	3:20	1:04	46:44	4:23	1:10	48:16	4:55	1:06	36:34	3:58	1:01
全体	533	11609	47:22	2:21	1:31	45:35	2:45	1:31	46:57	2:52	1:36	35:15	2:51	1:32
合計時間	()はR4年度との比較		51:14 (-1:11)			49:51 (+0:53)			51:25 (-3:20)			39:38 (-3:43)		

資料は、長野県教育委員会義務教育課提供

長野県立高校の時間外勤務の状況

月80時間超は400～500人おり、過労死リスクが高い状況。



資料は、長野県教育委員会高校教育課提供

20代、30代の教員の精神疾患が顕著に増加。

⇒病休のあと欠員補充できない ⇒残された人でカバー、疲弊の悪循環。

公立学校教員の1ヶ月以上の長期療養者数（休職者を含む）

（人）

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増加率 (22年度/16年度)
小学校	精神疾患	3,668	3,889	4,290	4,729	4,691	5,532	6,097	1.66
	精神疾患以外	4,134	4,010	3,922	3,861	3,794	4,157	3,885	0.94
中学校	精神疾患	2,155	2,268	2,348	2,385	2,292	2,552	2,872	1.33
	精神疾患以外	2,003	2,048	2,092	1,947	1,789	1,868	1,779	0.89
高校	精神疾患	1,193	1,243	1,309	1,329	1,273	1,356	1,557	1.31
	精神疾患以外	1,378	1,453	1,426	1,386	1,317	1,316	1,272	0.92
特別支援学校	精神疾患	1,044	1,054	1,092	1,157	1,143	1,432	1,587	1.52
	精神疾患以外	1,198	1,201	1,153	1,153	1,147	1,151	1,191	0.99

公立学校教員の1ヶ月以上の長期療養者数（休職者を含む）

（人）

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増加率 (22年度/16年度)
20代	精神疾患	1,286	1,576	1,765	1,950	2,140	2,794	3,096	2.41
	精神疾患以外	776	852	806	832	884	954	876	1.13
30代	精神疾患	1,788	2,012	2,302	2,612	2,563	2,859	3,380	1.89
	精神疾患以外	2,126	2,019	2,126	2,037	2,062	2,281	2,156	1.01
40代	精神疾患	2,024	2,057	2,141	2,229	2,138	2,437	2,627	1.30
	精神疾患以外	1,909	1,893	1,757	1,667	1,574	1,580	1,527	0.80
50代以上	精神疾患	2,973	2,825	2,854	2,849	2,611	2,854	3,089	1.04
	精神疾患以外	3,917	3,962	3,933	3,848	3,574	3,722	3,625	0.93
計	精神疾患	8,071	8,470	9,062	9,640	9,452	10,944	12,192	1.51
	精神疾患以外	8,728	8,726	8,622	8,384	8,094	8,537	8,184	0.94

※在職者に占める精神疾患による長期療養者の比率は、
20代で0.91%（16年度）
⇒1.87%（21年度）
⇒2.02%（22年度）

30代で0.92%（16年度）
⇒1.36%（21年度）
⇒1.52%（22年度）

出所）公立学校教職員の人事行政状況調査（令和4年度ほか）をもとに作成

教職員の長期療養休暇者・休職者の状況について

(単位:人)

長野県での病休等の状況

校種	年度	教職員数(A)	療休・休職者数(B)		比率B/A(%)	主な疾病異常					精神系比率(%)		
			療休	休職		精神系	筋・骨格	婦人科系	循環器系	療休・休職計	休職のみ		
全体	H30	18,832	300	165	135	1.59	精神系 169(101)	新生物 43(15)	筋・骨格 28(3)	婦人科系 26(0)	循環器系 15(5)	56.3	74.8
	R1	18,811	287	164	123	1.53	精神系 168(84)	新生物 50(21)	婦人科系 24(0)	筋・骨格 16(4)	循環器系 13(2)	58.5	68.3
	R2	18,676	262	147	115	1.40	精神系 144(84)	新生物 41(18)	婦人科系 29(1)	筋・骨格 17(1)	循環器系 14(4)	55.0	73.0
	R3	18,542	272	158	114	1.47	精神系 136(71)	新生物 46(21)	筋・骨格 31(6)	婦人科系 27(0)	循環器系 8(6)	50.0	62.3
	R4	18,526	259	162	97	1.40	精神系 157(73)	新生物 33(13)	筋・骨格 21(3)	婦人科系 20(0)	循環器系 12(3)	60.6	75.3
小・中学校	H30	12,450	182	96	86	1.46	精神系 106(68)	新生物 29(11)	筋・骨格 17(1)	婦人科系 15(0)	循環器系 5(1)	58.2	79.1
	R1	12,405	199	113	86	1.60	精神系 120(59)	新生物 31(15)	婦人科系 19(0)	筋・骨格 10(3)	循環器系 6(0)	60.3	68.6
	R2	12,376	171	97	74	1.38	精神系 96(58)	新生物 28(11)	婦人科系 23(1)	筋・骨格 6(0)	循環器系 6(0)	56.1	78.4
	R3	12,366	162	87	75	1.31	精神系 84(44)	新生物 28(17)	婦人科系 16(0)	筋・骨格 15(4)	循環器系 5(4)	51.9	58.7
	R4	12,337	156	93	63	1.26	精神系 94(45)	新生物 21(11)	婦人科系 15(0)	筋・骨格 10(2)	循環器系 8(2)	60.3	71.4
高等学校	H30	4,474	71	37	34	1.59	精神系 41(22)	循環器系 9(4)	新生物 7(2)	筋・骨格 6(2)	婦人科系 2(0)	57.7	64.7
	R1	4,457	49	23	26	1.10	精神系 28(17)	新生物 11(3)	循環器系 3(2)	筋・骨格 3(1)	婦人科系 1(0)	57.1	65.4
	R2	4,340	53	25	28	1.22	精神系 30(17)	新生物 7(4)	循環器系 6(3)	筋・骨格 5(1)	婦人科系 1(0)	56.6	60.7
	R3	4,239	61	32	29	1.44	精神系 30(19)	新生物 13(3)	筋・骨格 8(2)	循環器系 3(2)	婦人科系 1(0)	49.2	65.5
	R4	4,211	55	34	21	1.31	精神系 37(17)	新生物 7(2)	筋・骨格 4(0)	循環器系 2(0)	消化器系 1(1)	67.3	81.0
特別支援学校	H30	1,908	47	32	15	2.46	精神系 22(11)	婦人科系 9(0)	新生物 7(2)	筋・骨格 5(0)	その他 4(2)	46.8	73.3
	R1	1,949	39	28	11	2.00	精神系 20(8)	新生物 8(3)	循環器系 4(0)	婦人科系 4(0)	筋・骨格 3(0)	51.3	72.7
	R2	1,960	38	25	13	1.94	精神系 18(9)	新生物 6(3)	筋・骨格 6(0)	婦人科系 5(0)	循環器系 2(1)	47.4	69.2
	R3	1,937	49	39	10	2.53	精神系 22(8)	婦人科系 10(0)	筋・骨格 8(0)	新生物 5(1)	その他 4(1)	44.9	80.0
	R4	1,978	48	35	13	2.43	精神系 26(11)	筋・骨格 7(1)	婦人科系 5(0)	新生物 5(1)	循環器系 2(1)	54.2	84.6

教員不足の一番の被害者は、子どもたち。 義務教育の質保証、子どもの学習権はどこ行った？

副校長・教頭の声 #教員不足をなくそう緊急アクションによる調査(23年4月実施)

- 担任が不在になった際の学習指導が滞った。**プリントが中心の学習**。(沖縄県小学校)
- **受験生に対し、免許外の教師**が授業を行うということが起こった。(愛知県中学校)
- **3人に社会の臨時免許を持たせ、社会科未経験の先生が各学年に**教えている。受験生の保護者からクレームがある。非常に混乱している状態。(鹿児島県中学校)
- 育休代の講師が見つからず、**自習で対応**せざるを得なかった。(山形県中学校)
- 病休補充の講師が見つからず、**2クラス合同での授業**を実施しなければならない状況になった。(岩手県中学校)
- 年度の始まりに担任がいなかったことや、途中で担任変更があったことで、**こどもが戸惑い、学級が崩れて**しまった。一年の始まりは、子どもにとっても担任にとっても重要なので、教員数の確保は喫緊の課題だと感じる。(愛知県小学校)
- 複数の教員が学級に関わるようにしたが、特に**低学年の児童が不安定になり、トラブル**が増加した。(大阪府小学校)
- 多数の教職員が出入りすることにより、**情緒障害学級の児童が落ち着かなくなった**。力量のある主幹教諭等が暫定的に学級をもつことによって、補充された臨時的任用教員の指導力との差が歴然となり、保護者児童の不安が増した。(東京都小学校)
- **知的特別支援学級、2クラスを合同**。さらに、理科が足りないので特支担任に理科の授業をしてもらっている。理科については来週より70歳代の非常勤の方に来ていただき、対応の予定。(群馬県中学校)

なぜ、教員不足、講師不足となっているのか

■教員需要、講師需要の側面

- 定年退職者の多い時期の自治体の場合（九州などの地方で多い）、採用増
- 特別支援学級の大幅な増
- 産育休の増（とくに都市部の学校では職員が若返り）、男性の育休も増えている
- 病気休職や離職も減らないし、年度途中で急に起きることも
- 小学校35人学級の影響（都市の自治体を中心）

■教員供給、講師供給の側面

- 採用倍率低下で、講師数が減（あるいは講師だった人が正規職に採用されている）
- 教員採用試験を受けない、あるいはそもそも免許を取得しようとする学生が増えている可能性
- 採用試験に不合格となった場合、講師をしてでも正規教員をめざそうとする人が減っている可能性
- 教職員定数改善計画（国）もないなか、自治体としては採用増しにくい

なぜ、教員不足、講師不足となっているのか

■教員需要、講師需要の側面

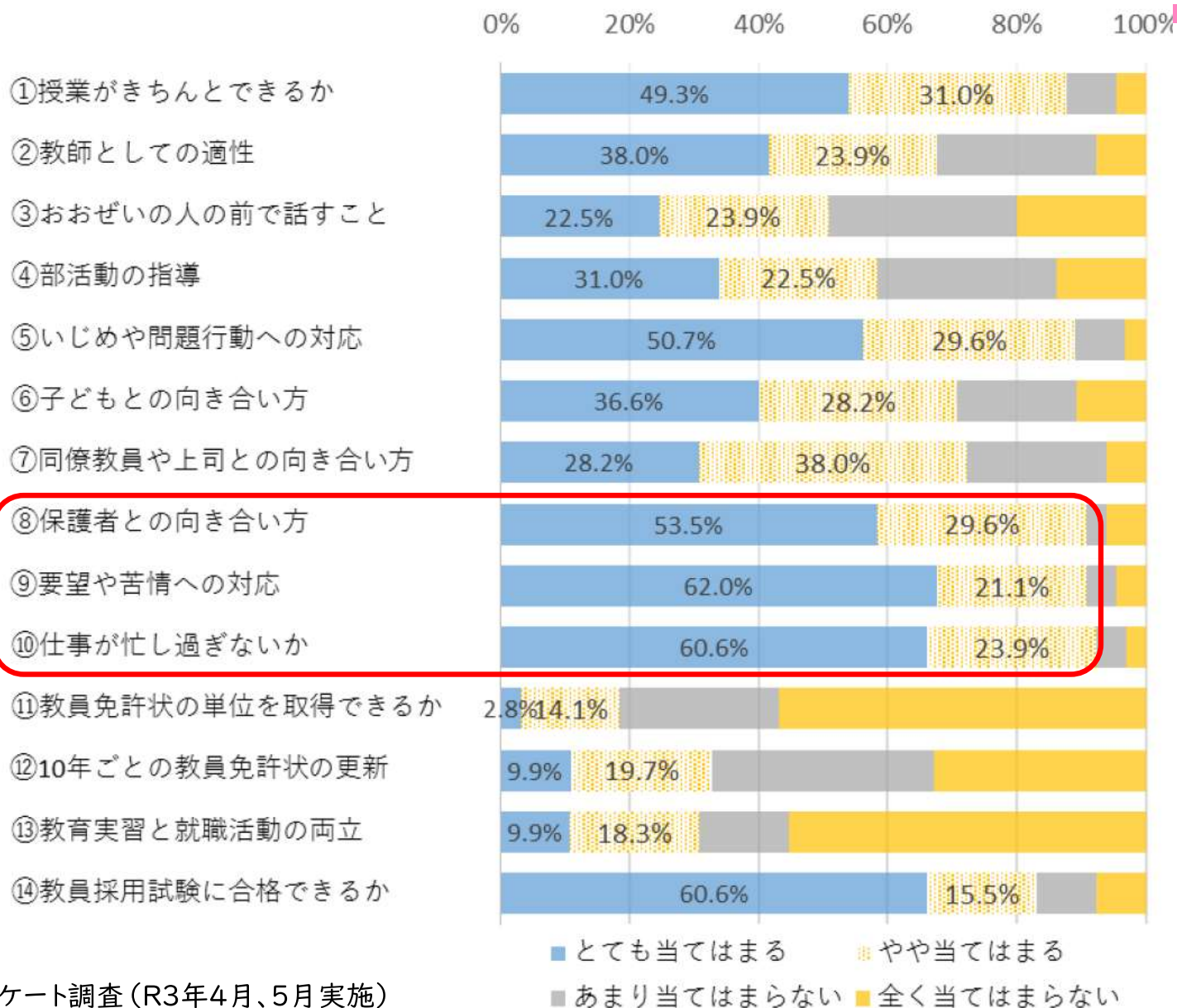
- 定年退職者の多い時期の自治体の場合（九州などの地方で多い）、採用増
- 特別支援学級の大幅な増
- 産育休の増（とくに都市部の学校では職員が若返り）、男性の育休も増えている
- 病気休職や離職も減らないし、年度途中で急に起きることも
- 小学校35人学級の影響（都市の自治体を中心）

■教員供給、講師供給の側面

- 採用倍率低下で、講師数が減（あるいは講師だった人が正規職に採用されている）
- 教員採用試験を受けない、あるいはそもそも免許を取得しようとする学生が増えている可能性
- 採用試験に不合格となった場合、講師をしてでも正規教員をめざそうとする人が減っている可能性
- 教職員定数改善計画（国）もないなか、自治体としては採用増しにくい

学生の不安

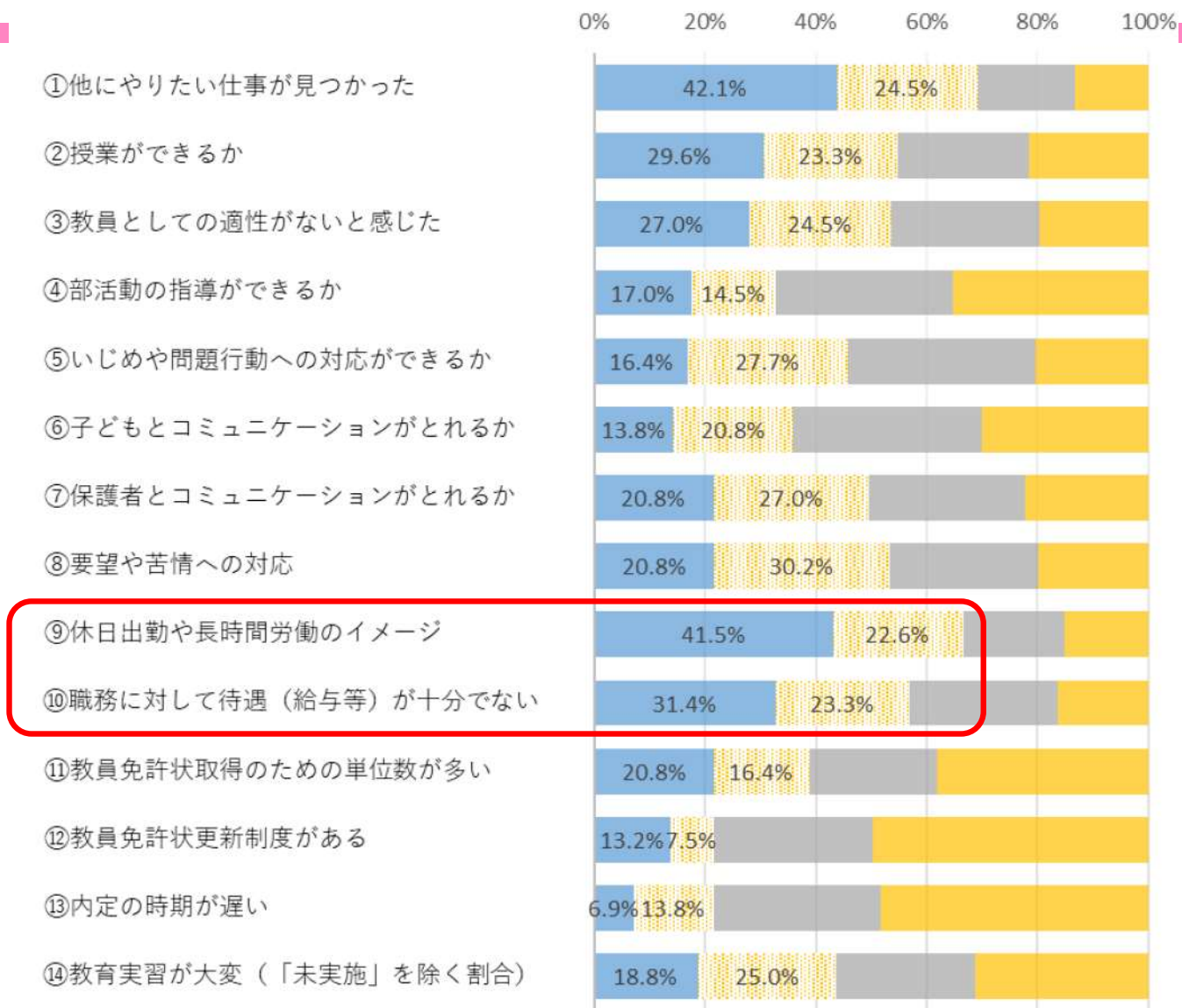
8 あなたが教職を志すに当たり、不安に感じていることや負担に思っていることについて、次のことはどの程度当てはまると思われますか（教育実習を受けた）



※愛知県内6つの大学の学生向けアンケート調査（R3年4月、5月実施）
出所）愛知県総合教育センター「教職の魅力向上への課題に関する調査研究」

教職を希望していたが、やめた学生の理由

10 あなたが希望を取りやめた理由について、次のことはどの程度当てはまると
 思いますか。
 (4のウ選択者のみ)



※愛知県内6つの大学の学生向けアンケート調査 (R3年4月、5月実施)
 出所) 愛知県総合教育センター「教職の魅力向上への課題に関する調査研究」

■ とても当てはまる ■ やや当てはまる
 ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない

子どもたちのウェルビーイング（心身ともに
良好な状態）に関心のある人も多いことでしょう。

でも、教職員が疲れ果てている状態で、
子どもたちのウェルビーイングは
高まるでしょうか？

施策の方向性

学校の施設設計や予算措置：「子どものため」という発想は強いが、**教職員の福祉や能率アップの視点は脆弱**。休憩室すらない。民間企業と大違いデス。

ある地方の公立中学校の職員室
手前は教頭先生



必要性の高い施策① 労働安全衛生体制 長野県が先行しているところも

自分の心（ココロ）と体（カラダ）を大切にす

ココカラ

はじめに

長野県教育委員会では、令和3年2月に「学校における働き方改革推進のための方策」を策定しました。そこでは、以下の2つを働き方改革の目的に据えています。

- ① 心身の健康を保ちながら、生き生きとやりがいを感じて豊かな教職生活を送ることができ、教職員としての専門性や創造性を高め、子どもたちへの質の高い教育を実現していくこと
- ② すべての教職員の在校等時間を客観的な方法により年間を通して把握し、時間外在校等時間の縮減（原則年 360 時間以内及び月45 時間以内）のための取組を推進していくこと

現在、各校で業務の精選や見直しを進めていただいているところですが、長期療養休暇者・休職者は高い水準で推移しており、教職員がメンタルヘルスを良好に保ちながら、自身の仕事に誇りを持ち、生き生きと働くことができる環境を整備していくことが急務となっています。

そこで、教職員が教育活動に専念できる職場環境づくりを推進していくための「サポートガイド」を作成しました。子どもたちの学びに向き合うためには、教職員自身が自分の心と体に真摯に向き合うことが不可欠です。自分の心（ココロ）と体（カラダ）を大切にしていくこと、まずは、「ココカラ」スタートしていきましょう。

教職員の笑顔が子どもの笑顔につながっています。教職員が生き生きしている職場は子どもたちも生き生きしている学校になります。教職員の安全の確保や健康の保持増進の推進のために、ぜひご活用ください。

CONTENTS

01	安全衛生委員会の充実	(1) 安全衛生委員会の基礎・基本	1
		(2) 安全衛生委員会の工夫	3
02	メンタルヘルス対策の推進	(1) 学校における面接指導体制の整備	4
		(2) メンタルヘルス関係研修の受講	4
03	参考資料		5

必要性の高い施策① 労働安全衛生体制

総務省の調査研究によると、5つの方向性がある。
教育行政の進ちよく、実態はいかがか？

● 第2章 メンタルヘルス対策の取り組みの方向性 P.4～

1. トップのリーダーシップ	メンタルヘルス対策は重要課題であるということを組織のトップである首長が十分認識し、強いリーダーシップを発揮し全庁的にメンタルヘルス対策に取り組むことが必要。
2. 段階に応じた4つのケアと連携	各職員個人が取り組む「セルフケア」、管理監督者による「ラインケア」、産業医等の「職場内の保健スタッフ等によるケア」、職場外の専門医等の「職場外資源等によるケア」の4つのケアが、それぞれ十分機能し、連携することが重要。
3. ハラスメントの防止	職場のパワハラ・セクハラ等のハラスメントを防止するための雇用管理上の措置を確実に講じることが必要。
4. 働き方改革との連動	時間外勤務の縮減や、テレワークの活用、年次有給休暇の取得促進等、これまでの働き方をゼロベースで見直す働き方改革を積極的に進め、職員の心身の負担を軽減し、より働きやすい職場に向けて環境整備を進めることが必要。
5. 関係部局間の連携による総合的な対策	メンタルヘルス不調の予防のためにも、従来の考え方にこだわらない業務の進め方の改善や、柔軟な職員配置等、業務・組織の見直しなどに取り組むことが必要。

必要性の高い施策① 労働安全衛生体制 前頁の5つの方向性を踏まえ、問題点を洗い出す(例示)。

① トップのリーダーシップ

- 教育長は「教職員のメンタル不調・離職の防止は最重要施策のひとつ」と言っていますか？

② 段階に応じた4つのケアと連携

- セルフケアに関する知識・情報が不足(短時間でもいいので、研修等は必要)。ただし、安易な自己責任論にならないように。校長や教育長等は、長時間勤務を耐えた生存者である。
- 教頭や学年主任らが超多忙ななか、ラインケアが機能していない。忙しい人には相談しづらい。小規模校も多い中、衛生委員会もない(または県立学校などでは形骸化している例も)。
- 産業医等の職場内ならびに職場外の資源も脆弱。しかも教職員は日々忙しい中、訪問しにくい。事例:相模原市では、精神科医の指導助言のもと、教職員が保健師とつながり、相談しやすい体制に。

③ ハラスメントの防止

- 一部の校長や年配の教員等がハラスメントするケースも。教委の多くは実態把握すらできていない。
- 相談窓口はあるよ、と言っても、「大変だね」と聞いてくれるだけでは不十分。解決に動けないと。

④ 働き方改革との連動 ⑤ 関係部門間の連携による総合的な対策

- 教委も文科省も、全庁的な取組にはほど遠いのでは？
- そもそも、これまでの施策の反省もできていない。たとえば、ストレスチェックはやって個人に返すだけ。個人情報の問題をクリアしつつ、組織的に活用する必要あり。

忙し過ぎる先生たち。

働き方改革も推進してきたものの、
手詰まり感もある。

どうしたらよいだろうか？

必要性の高い施策② 業務の見える化 ⇒ 問題点の洗い出し ⇒ 改善・試行 事例：生駒市の教頭業務の分析

■ 教頭の出勤から退勤までの全業務を分単位で記録する「シャドーイング調査」を実施。

- 背景・趣旨には、働き方改革について「教頭がリーダーシップをとり推進していくためには、まず教頭自身に学ぶゆとりや、組織開発や人材育成といった創造的な仕事ができるゆとりをつくる」ための抜本的な教頭の業務改善を進める必要がある、との考え。
- 令和4年11月7日・9日の2日間で実施。今回は4名の教頭(小学校2名・中学校2名)が対象。

■ 右図はその一部だが、早朝から解錠など施設管理業務があり、その後、書類確認や電話対応などがひっきりなしに入っており、集中して業務にあたることができなしている。

- 別の中学校教頭は、9時過ぎから約1時間半の間に10回保護者対応(集金等)でさまざまな中断が入っていた。

■ 教頭の負担軽減のためには、業務分担ができるスタッフ等の配置に加えて、業務そのものの必要性を見直したり、減らしたり、やり方を変えたりすることも重要。

※右側のデータは生駒市教育委員会提供。
左側のコメントは妹尾作成。

A小学校の教頭 令和4年11月7日

時刻	場所	分類	業務内容	⑧
6:50	校門	②	出勤 校門の解錠	●
		②		●
6:55	校舎内	②	玄関の解錠	●
	職員室	②	職員室 印刷室等の解錠	●
7:00	校舎内	②	校舎内の解錠	●
		②		●
7:05		②	多目的室解錠	●
	体育館	②	体育館解錠	●
7:10	職員室	②	職員室の新聞準備	●
		②	施設開放日誌整理	●
7:15		①	校務支援システム確認(当日の日程) ホワイトボードに予定を転記	●
		①	校務支援システム確認(掲示板)	
7:20	職員室	①	予備PC配布・記録(職員)?	
		①		
7:25		①	書類確認(保護者対応)	
		①	書類確認(年休届け等)・職員対応①(PC関連)	
7:30		③	電話対応①(保護者・コロナ関連)	
		③	↓	
7:35		③	電話対応①コロナ書類作成・印刷	
		③	↓	
7:40		③	電話対応①コロナ書類整理	
		③	電話対応②(対保護者・児童の登校渋り)	
7:45		③	↓	
		③	電話対応②メモ作成・担任への伝達	
7:50		①	校長便り確認・校正①	
		③	電話対応③(保護者) 担任取次	
7:55		①	打合せ①(担当者・音楽発表会での動線の確認)	●
		①	打合せ②(担当者・物品確認)	▲
8:00		①	職員対応②(勤務時間の割振表確認) 打合せ③(担任・1年校外学習)	
		①	日程確認(学校菜園関連) 打合せ④(担当・体験入学について)	
8:05		②	瞬間接着剤の搜索(何か外れたと職員から訴えがあったような…)	
		③	電話対応③(保護者・欠席連絡)担任への伝達	
8:10		①	打合せ⑤(教務・体験入学について)	
		①		
8:15		①		
		①		
8:20		①		
		①		
8:25		①		
	1の4教室	②	欠席連絡伝達	▲
8:30	職員室	①	職員朝礼司会・連絡事項の記録	●
		①		●
8:35		④	打合せ⑥(育友会広報誌関連 ICT活用記事)学年代表に記事作成依頼	
		④	電話対応○報告(校長・ について)登校渋りの件かと	21

必要性の高い施策②

業務の見える化 ⇒ 問題点の洗い出し ⇒ 改善・試行（学校BPR）

- 当団体では、1日の業務について、**だれが、何に、どのくらいの時間を使っていたのか**を記録し、**簡易に集計できるツール**を開発している。（エクセルなので、教職員にとってもなじみやすい。）
- イメージとしては、文科省の教員勤務実態調査を自校のやりたい時期にやってみることに近い。プルダウン式で入力の手間を軽減するなど、少し慣れれば、それほど時間は要しない。また、データは、自動集計で見える化するので、データの取りまとめを大幅に軽減できる。
タイムカード等のデータだけでは、**分からない”何に忙しいのか”を捉えることができる。**

5入力例（平日1日分） [目次Topへ](#)

3時間分の授業（45分×3）をまとめて入力

休み時間・給食・清掃指導をまとめて入力

4月10日(月)	①分類名	児童生徒指導	児童生徒指導	児童生徒指導	児童生徒指導	児童生徒指導
	②業務名	a朝の業務	b1授業（主担当）	e成績処理	f1生徒指導（集団1）	b1授業（主担当）
10時間30分	③備考			空き時間		

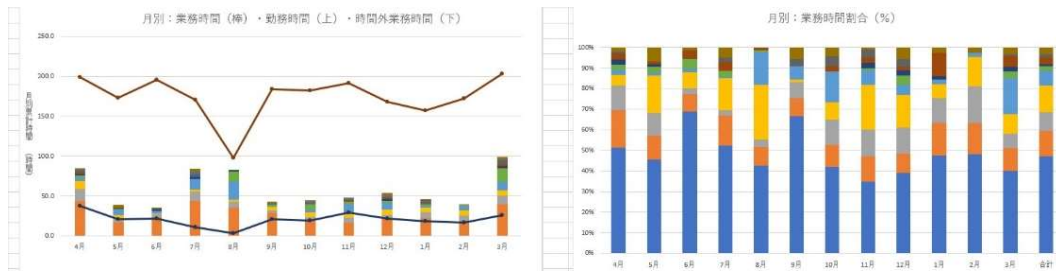
入力した業務時間の合計（持ち帰り業務を含む）

児童生徒指導	児童生徒指導	学校運営	その他	学校運営	外部対応	児童生徒指導
k学	f1生徒	m1職員会議・学年会などの会議	x休憩・休息等	l学校経営	r行政・関係団体対応	c授業準備
		Must:	Must:	Better:	Out Source:	Must:

「備考」欄にメモを入力可能

この業務の評価を選択（4段階で任意）

「持ち帰り」業務も入力する（24時間対応）



必要性の高い施策③

保護者・地域との関係づくり

1. まずは、お互いの事情、現実を共有。協力者の前に、理解者を増やす。
 - 子どもの登校時刻が正規の勤務時間よりも早い。
 - 部活動指導のために教員を雇っているわけではない。
2. 行事や部活動は、「なんのため？」を問い直す。
 - 運動会や卒業式はなんのため？保護者を喜ばせるためじゃないよね？
 - 部活は大会、コンクールに勝つためにやってるの？
3. 教育上の効果、意義はあっても、①副作用も大きいもの、
②子どもたちの負担や教職員の負担が重すぎるものは、見直す。
 - 例：部活のやりすぎは、子どもたちの健康にマイナス（怪我やバーンアウトのリスクを高め）、かつ、生徒の生活時間を奪う（生徒の負担も重い）。
 - コミュニティ・スクールやPTA会議で対話、議論。

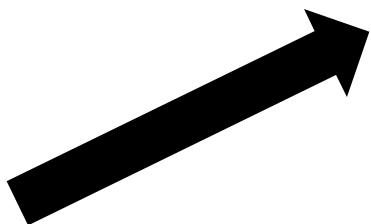
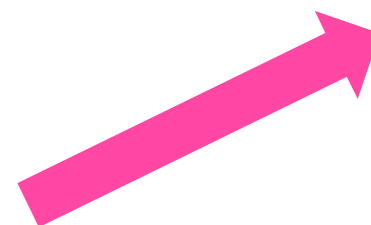
必要性の高い施策④ 自律性や裁量、遊び心の大切さ
教職員の福祉・ウェルビーイングをマイナスからゼロにする施策と
プラスをもっと高める施策の両方が必要。どちらかだけではない。

ウェルビーイング

+

0

-



- ✓ ブルシットジョブ(どうしてもいい仕事、非効率な作業等)撲滅
- ✓ 過労死の防止
- ✓ ハラスメント防止
- ✓ メンタル不調者へのケア、復職支援 等

- ✓ 教職員が探究や生涯学習を率先して楽しめるようになる
- ✓ プライベートの充実(有休取得促進など)
- ✓ 学校裁量、教職員の裁量の拡大
- ✓ クリエイティブで挑戦する教職員チーム 等

きょうの私のプレゼンが、長野県をはじめ、
各地の学校の教職員の健康とウェルビーイング
を高める一助になれば、幸いです。

【妹尾の著書の紹介】 本を読むのも、書くのも好きです！



ばくの原点。
元気な学校は何が
ちがうのか。



ビジョンは思った以上に浸透して
いない。
学校の戦略づくりとコミュニケー
ションを考える。



ケースメソッド方式で
モチベーションや業務改善につ
いて、とても具体的に考えられる
一冊。



わくわくする学校事務に挑戦
する6人のプロたちの仕事へ
の姿勢や仕事術を分析。事務
職員の学校運営への参画を
具体的に考えていける本。



多忙の実態を豊富なデ
ータで解説。
働き方改革の基本方針
と具体策を提案。



働き方改革の教科書。学
校や教育委員会が行う
べきこと、中教審答申と
その前後の最新動向を
踏まえて解説。

典型的なマズイ事例に
陥らないために、どうする
か、5大原則を演習問題
付きで解説。

本、増えました!

学校をおもしろく 思考法

卓越した企業の失敗と成功に学ぶ

妹尾昌俊 著

企業や行政、イノベーターたちの失敗と成功から、学校や教育行政は何を学べるか。Google、セブンイレブン、スタバ、佐賀県庁など様々な事例を分析。

教師崩壊

先生の数が足りない、質も危ない

妹尾昌俊 Senoo Masatoshi

●教師の4割は月1冊も本を読まない
●毎年5000人が精神疾患で休職

なぜ日本の教育はここまで劣化したか

気鋭の教育研究家が豊富なデータで解説!

PHP新書 1223

教師不足、過重労働、社会からの信頼低下など、5つの危機、ティーチャーズ・クライシスを解説。

採用倍率低下は本当に問題なのかなど、データをもとに深層に迫る。

教師と学校の失敗学

なぜ変化に対応できないのか

妹尾昌俊 Senoo Masatoshi

●休校中の学習はプリント配布で家庭任せ
●難航しているオンライン授業...

子ども本位で考えない学校の現実

データとファクトで読み解く教育変革「7つの施策」

PHP新書 1262

コロナ危機下での学校運営と教育政策の重要課題とその背景を分析。

休校中の対応、夏休み短縮、時数確保の重視などが子ども本位で進められてきたかを検証し、今後に向けたビジョンを示す。

先生を、死なせない。

妹尾昌俊 / 工藤祥子

教師の過労死を繰り返さないために、今、できること

命を失うに言いながら過労死してしまった人が続出したことは何だったのか。何で命を失ってしまったのか。また現在多くの先生方の過労死等の事案に関する定論から、きちんと過労死等の原因を探し、防止策や改善をしていくことが、過労死で犠牲になった「先生」を救うことであり、子どもたちのためにも先生方のためにも、学校の明るい未来を作ることに繋がっています。(P.18より)

教師の過労死はなぜ繰り返されるのか。100件近い事案を集計分析した上で、真因と解決策を探る。

正直、重たい本だが多くの人と一っしょに考えたい問題。

校長先生、
教頭先生、
そのお悩み
解決できます!

妹尾昌俊
教育研究家／一般社団法人ライフ＆ワーク代表理事

働き方改革はもう限界...
教育委員会のやり方に納得いかない...
これまでのやり方にしがみつくと教員をどうすれば...
教頭の仕事が忙しすぎる...
学校管理職のリアルなお悩みを妹尾さんと考える!

教育研究家

新刊!

校長・教頭や教職員から寄せられたお悩みに、妹尾なりに回答。働き方改革限界ですこれまでのやり方にしがみつくと人をどうすればいいですか など

識者との対談も収録

妹尾の活動など詳しい紹介はこちら

<https://senoom.jimdofree.com/>

妹尾昌俊 元気な学校づくり



Masatoshi Senoo
Life & Work

ホーム お問い合わせ

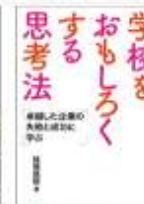
プロフィール 著書紹介 講演・研修について 研修動画 ニュース解説

妹尾 昌俊 ライフ&ワーク代表
元気な学校づくりラボ

元気な学校と地域づくり

妹尾昌俊（せのおまさとし）のウェブサイトによるこそ！

日本中に元気な学校と地域を増やすため、
すくれた実践をわかりやすく翻訳し、
先生や関係者がともに学び、成長できる場をつくることを
志（マイミッション）として日々活動しています。



主な著書紹介

今まで執筆した書籍の紹介です。
主な著書に『変わる学校、変わらない学校』、『教師現場』、『学校をおもしろく』

講演・研修について

日本中に元気な学校と地域を増やすために、講演、研修、取材、アドバイス等で全国各地の学校、行政を訪れています。

YAHOO!ニュース解説

Yahoo!ニュースオースターとして、教育問題などの最新情報をなるべくわかりやすく、速報的に解説をしています。